

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

兵庫県 西播磨水道企業団

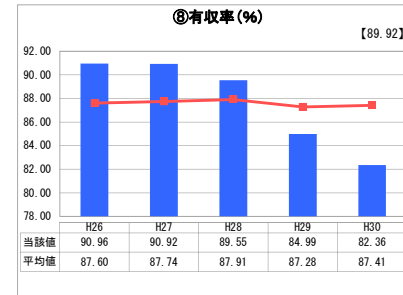
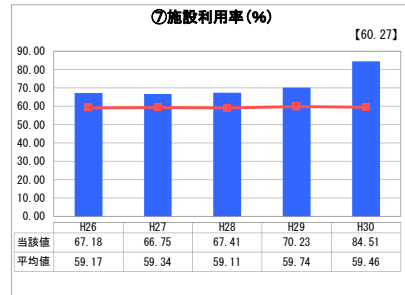
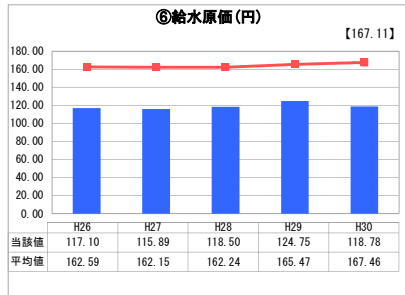
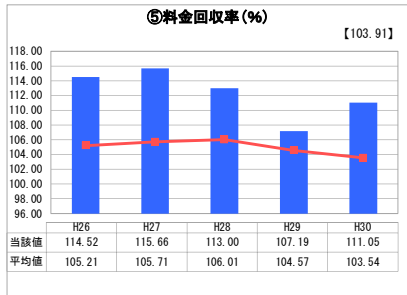
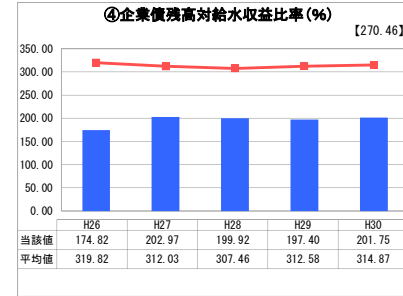
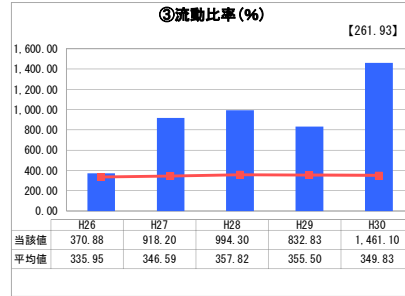
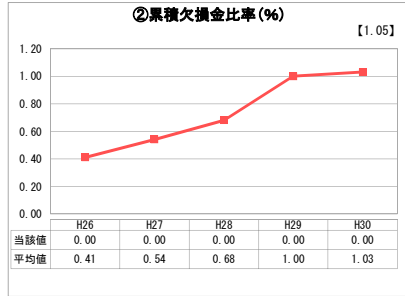
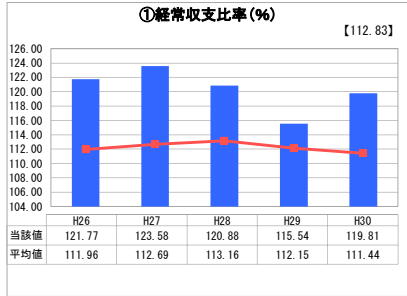
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	85.02	100.00	1,790	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
51,798	41.03	1,262.44

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、水源地等施設の運転維持管理業務委託の解消等による施設管理委託料の減及びたつの市からの受水の廃止による受水費の減に伴う経常費用の減少により向上した。平均値と比較して数値が高く良好な状況であるが、給水収益の減少が続いているため、継続して費用の削減に取り進む必要がある。

② 累積欠損金は、発生していない。

③ 流動比率は、未払金の減少により向上した。数値は100%を大きく超えており、良好な状況である。

④ 企業債残高対給水収益比率は、企業債の借入を抑制しているため、平均値と比較して低く良好な状況である。

⑤ 料金回収率は100%を超えており、平均値と比較して良好な状況である。

⑥ 給水原価は、施設管理委託料及び受水費の減により低下し、平均値と比較して安価であるといえる。

⑦ 施設利用率は、老朽化した措保水源地の運用を休止し、施設のダウンサイジングを図ったことにより、数値が上昇した。平均値と比較して高く、今後、配水量の減少が見込まれるため、良好な状況である。

⑧ 有収率は、配水量に比べて有収水量が大幅に減少したため、数値が低下した。

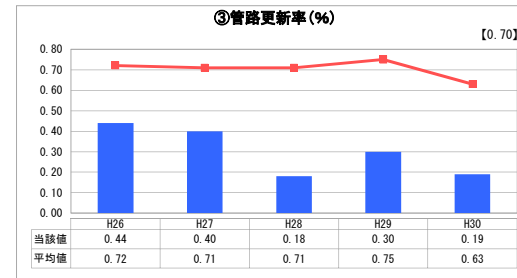
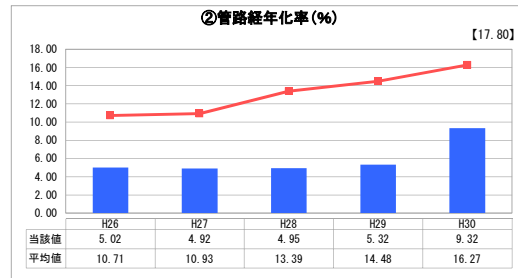
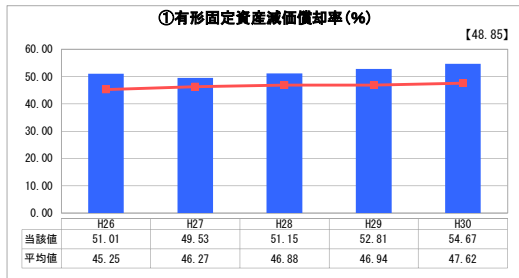
### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体と比較してやや高くなっているが、これは、施設整備を、高度経済成長期に行った結果、これらの施設の老朽化が進み、更新の必要があることを示している。

② 管路経年化率は、類似団体と比較して低いが、これは、下水道布設工事に併せて管路の更新工事を行っており、管路が新しくことを示している。

③ 管路更新率が低くなっているのは、管路が新しく更新事業が少ないためである。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

当企業団の経営状況は、類似団体の平均値と比較して、やや良好な状況となっているが、経年施設の更新及び耐震化が課題となっている。

人口減少により給水収益が減少していく中で、安心で安全な水の安定供給を継続していくため、平成29年度に策定した経営戦略により、重要度と優先度を踏まえ、計画的に更新事業を実施し、健全経営に努める。